

あわみなと通信

暮らしを支える港湾と空港の話

報告 — 前田国土交通大臣 沖洲ターミナルを視察 —

平成23年10月10日、徳島県に来県された前田国土交通大臣が、徳島小松島港沖洲(外)地区の複合一貫輸送ターミナル整備予定地を視察されました。

このターミナルは平成21年度新規事業として認められ、土質調査や設計および施工検討を経て、現地起工式を今年7月30日に行いました。南海地震等の震災時にも、緊急物資輸送に対応できる耐震強化岸壁として整備し、大型フェリー(15,000トン級)が利用できるように航路泊地および岸壁は水深8.5mの計画です。

徳島市中心部の藍場浜公園から四国横断自動車道の徳島東IC予定地を通過して、マリニピア沖洲に到着された大臣は、今後益々、物流機能の充実強化が進む四国の東の玄関口をご確認されました。また、現地で小松島港湾・空港整備事務所長から事業概要説明を受けた後、オーシャントランス(株)社長からも震災時のフェリーの役割等について聴かれました。当日は高井美穂衆議院議員も共に現地をご覧になりました。

当事務所では徳島県と協力して、平成26年度完成を目指して岸壁整備を進めています。本事業を通じて「災害対応力の強化による“安全・安心の確保”」、「輸送効率の向上による“海上輸送へのモーダルシフト”“低炭素・循環型社会の形成”」等の達成に全力で取り組んでいます。



事業概要説明



左より、オーシャン(株)高松社長、高井議員、前田国交大臣

INDEX▶

- みなと報告・・・1
前田国土交通大臣 沖洲ターミナルを視察
- みなとインフォメーション・・・2
徳島小松島港 沖洲ターミナル整備事業 起工式
- なるほどみなと講座・・・3
地盤改良「CDM工法」
- みなと通信・・・4
報告「海洋環境整備船「みずき」東北地方への応援派遣」